

京都スタジアム（仮称）を核とした
にぎわいについて

～中間まとめ（案）～

平成 25 年 9 月

京 都 府

本案は、「京都スタジアム（仮称）運営経営専門家会議」における委員意見を踏まえ中間的に取りまとめたものです。

1 国内におけるスタジアムのにぎわい施設の現状

Jリーグが使用する14箇所の専用球技場のにぎわい施設の状況については、巻末資料のとおりである。

スタジアムは天然芝を良好に維持管理するために、年間平均試合数が50試合程度となっており、試合がない日は、利用者が少ない状況が見受けられる。

➤ Jリーグが使用するスタジアムの付帯施設について

- スタジアム本体に設置されている施設
 - ・ レストラン
 - ・ スポーツジム
 - ・ プール

- スタジアム本体の周辺に設置されている施設
 - ・ 人工芝コート（サッカー・フットサル）
 - ・ スポーツ施設（テニスコート・体育館）
 - ・ 文化ホール
 - ・ 屋外遊具

2 運営経営専門家会議の意見

[第1回会議]

全国のスタジアム等の付帯施設や周辺施設の事例等を基に、スタジアムに係るにぎわい施設のあり方等について意見を聴取した。

〈主な意見〉

- スタジアム整備は周辺地域の整備と相互に連動させることが重要である。
- 府内各地からのアクセスがよいという立地は大きな資源である。単に箱物をつつくるという発想ではなく、日常的に、見に行ったり、学んだり、楽しんだりということが可能になるなど、スポーツ振興、文化振興の観点から総合的に考えていくことが極めて重要である。
- スタジアムの設計段階からどのような事業化が展開できるかをイメージし、運営する者の仕掛けが出来るようにハード整備をしておくことが必要である。
- 他のスタジアムと同じことをしてもダメ。地域性のある取組みや、太陽光発電を設置するだけでなく太陽光エネルギーの学習センターも併設し、子どもたちが試合がない日にも学びに来るような取組みはよいと思う。
- 公共施設であっても、チームミュージアム、ショップ、スタジアムツアー等、チームの魅力を全面に出せるスタジアムにすることが必要である。
- より広範なエリアから集客するためにも、車での利便性、鉄道での乗換を含めた快適性をデザインすることや、強力な吸引力がある施設が複数あることが重要である。

[第2回会議]

本スタジアムの周辺で計画されている都市開発や地域整備を踏まえ、スタジアムを核としたにぎわいに資する施設について意見を聴取した。

〈主な意見〉

- スタジアムを、スポーツ、特にフットボールの聖地にしていくことが重要。一方で、試合日以外のにぎわいも必要で、例えばスポーツクラブは会員が毎日のように利用するし、最近流行のクライミングウォールはよいと思う。
- アミューズメント施設については、本当に行きたくなるような本物志向の施設をつくるのがよい。
- メニューは用意できており、一つ一つのアイデアはよいと思うので、それぞれの施設をどのようにつなぎ合わせ、全体としてどういうものにしていくのが重要である。
- 全体を貫く強いストーリーが必要であり、例えばサッカーをメインとすれば、学校教育とうまく連動させて、サッカーの裾野を拡げていくようなストーリーも考えられる。
- 亀岡に宿泊して貰えれば経済効果が生じる。クライミングウォールなどの大会が開催できる本格的な施設であれば、宿泊や周辺の観光につながる。
- 保津川下りなどの観光資源、郷土の素晴らしい特産品、スタジアムからの眺望など、地域の特性を活かした取り組みが必要である。
- 地域のコミュニティとの関係は、日常的に人が来てくれるという意味で大事である。ギャラリーなど市民が自由に使える空間を設け、コミュニティに開放し、にぎわいを生み出すことを考えてはどうか。地域とのつながりをしっかりつくっておくのも大事である。
- ワクワクキッズランドのような施設ができるのであれば、試合観戦の時に託児サービスもセットでするようなことを考えることができる。
- 天然芝の育成はスタジアム運営に非常に重要であり、にぎわい施設を入れる場合にも、採光や通風を確保することが必要である。

3 京都スタジアム（仮称）を核としたにぎわいについて

（１） まちづくりの状況について

京都スタジアム（仮称）の建設が予定されている亀岡市都市計画公園には、隣接して、南側には「亀岡駅北土地区画整理事業」による新市街地が、東側には桂川の河川改修事業で整備される高水敷や堤防を活用した「保津川かわまちづくり計画」の整備予定区域が広がっているという大きな特徴がある。



(2) にぎわい施設のエリアについて

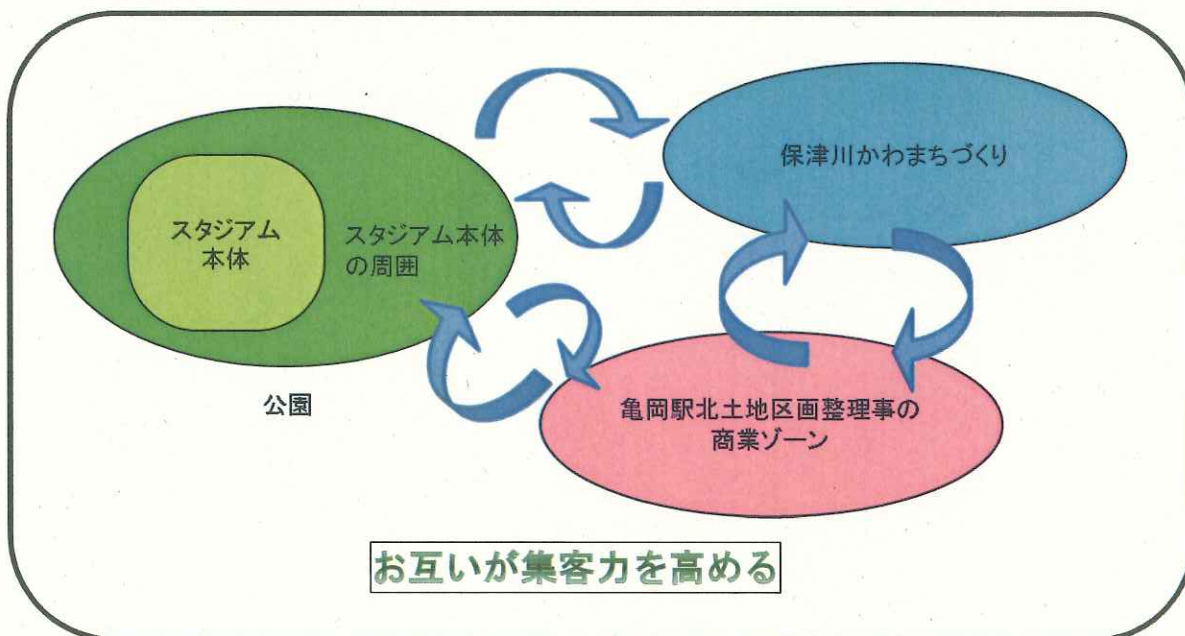
➤ エリアの構成

にぎわい施設を考えるエリアは、その特徴から、以下のとおり区分される。

- ① スタジアム本体
- ② スタジアム本体の周囲
- ③ 都市公園敷地外
 - ・ 亀岡駅北土地区画整理事業の商業ゾーン
 - ・ 保津川かわまちづくり計画の区域

➤ エリアの連動

「スタジアムの整備は、周辺地域の整備と相互に連動させることが重要」であり、各エリアの施設が機能し、さらに、それが連動することで、相乗効果を発揮させる必要がある。



➤ エリアの目指す方向

〈考え方〉

- スタジアム本体は、球技（サッカー・ラグビー等）の聖地として、Ｊリーグ等の最高峰の競技をはじめ、社会人・大学、更には、高校・中学の決勝大会を開催する等、学校教育活動においても目標となるところ
- スタジアム本体及びその周囲は、子供から大人まで、身体づくりの基礎となるスポーツや基礎的なトレーニングができるところ
- 3つのエリア全体で、スポーツする（競技する、観戦する）に加えて、「観る」・「遊ぶ」・「学ぶ」・「食べる」・「くつろぐ」などを創出し、「人が行きたくなる開かれた空間」、「サッカー等の試合がないときも、日常的に人が訪れるところ」をつくる

(3) にぎわい施設に求められるものについて

- 近隣住民だけでなく、府域全域からの集客
- 親子連れ、若者やグループが、楽しめる



〈施設の特徴〉

- そこでしか得られない体験
- 日常では得られない体験
- 他のスタジアムにはないもの
- 何かの登竜門又は聖地

(4) にぎわい施設の具体案について

1) スタジアム本体には

にぎわい施設 (案)

- ① スタジアムの高さ (約 30m 10 階) を活かした癒しとスリルの空中 (そらなか) ゾーン
- ② スタジアムを駆け上がるクライミングウォール
- ③ キッズランド ワクワク館 (感)
- ④ 京都サンガ選手と一緒にトレーニング 「スポーツジム」
- ⑤ ダンスやスポーツに使えるスタジオ
- ⑥ エコロジースタジアム (エコロジーの学習コーナー)
- ⑦ 自然と共生するスタジアム (アユモドキの展示コーナー)
- ⑧ エンターテインメント&コミュニティ空間
- ⑨ クラブショップ・ミュージアム/スタジアムツアー

① スタジアムの高さ (約 30m 10 階) を活かした癒しとスリルの空中(そらなか)ゾーン

▽ 概要

スタジアムの最上部に、レストランだけでなく、回遊をできるデッキなどを設け、癒しとスリルが味わえるようなアミューズメント機能のある複合展望ゾーン

▽ 施設

- ・ 空中にせり出した展望デッキ
- ・ 空中回廊
- ・ 眺望足湯
- ・ クライミングウォールを見下ろせるレストラン
- ・ シースルーエレベーター



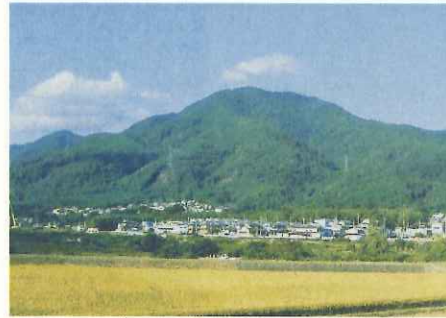
ガラス張り空間
※シースルーの床



出典：空中回廊 (京都駅)



出典：展望台（札幌ドーム）



出典：牛松山(亀岡市)



そらなか（空中）ゾーンのイメージ

② スタジアムを駆け上がるクライミングウォール

▽ 概要

キッズからアスリートまで幅広い利用、大会も開催可能な「ここにしかない」「日常では得られない」体験施設

▽ 施設

ボルダリング リード



出典：京都府山岳連盟



出典：千葉県

③ キッズランド ワクワク館 (感)

▽ 概要

基本構想〈案〉に、スタジアムを青少年の夢とあこがれの架け橋とすることを掲げており、さらに、その下の年代の幼児も楽しみ、親子連れ、学校の遠足など、日常にも子どもが訪れる空間

色々な遊びや体験ができる複合施設

▽ 施設

遊具、工作、絵本、体験ゾーン等



出典：文化パルク城陽



出典：大阪府立大型児童館ビッグバン



出典：キッズプラザ大阪

④ 京都サンガの選手と一緒にトレーニング『スポーツジム』

▽ 概要

あこがれの京都サンガの選手も利用し、一緒に汗を流せるという付加価値のあるスポーツジム

▽ 施設

トレーニングルーム(トレーニングマシン)、更衣室、シャワー室



ジムのイメージ

⑤ ダンスやスポーツに使えるスタジオ

▽ 概要

中高生などの若者グループをターゲットに、気軽に安く利用できるスタジオ

エアロビなど健康づくりにも活用できる空間

▽ 施設

スタジオ、更衣室、シャワー室、休憩室



民間の貸しスタジオ例

⑥ エコロジースタジアム（エコロジーの学習コーナー）

▽ 概要

基本構想〈案〉において、太陽光発電や雨水再利用、水循環やヒートアイランドへの配慮をし、省エネ、省資源、環境に配慮した技術を導入した施設にしたいというコンセプトをもっており、その取組みを学習、体験できる空間



スタジアム屋根上のソーラーパネル

出典：Jリーグ「スタジアムの未来」



環境学習展示のイメージ

出典：北九州次世代エネルギーパーク



雨水利用イメージ

出典：広島市（提供）



透水性舗装イメージ



壁面緑化イメージ

⑦ 自然と共生するスタジアム（アユモドキの展示コーナー）

▽ 概要

天然記念物「アユモドキ」について、地域保全活動の取組み等を紹介・展示するコーナーを設置



展示イメージ



アユモドキ

⑧ エンターテインメント&コミュニティ空間

▽ 概要

スタジアム周囲のエントランス、コンコース、駐車場を利用し、さまざまなイベントを実施

▽ 事例

キャラクターショー、試乗会、屋外コンサート、展示会、朝市、フリーマーケット、イルミネーション等の各種イベント



出典：埼玉スタジアム 2002
※フリーマーケット

⑨ クラブショップ・ミュージアム/スタジアムツアー

▽ 概要

「京都サンガのホーム」となる場所あり、クラブの歴史等についてのミュージアムや応援グッズ等を販売するチームショップのほか、ピッチや選手が使用するロッカールーム、ウォーミングアップルーム等、普段立ち入ることが出来ないところを巡るスタジアムツアーなどで、よりチームの魅力を全面的に押し出す



出典：日産スタジアム



イメージ



出典：埼玉スタジアム 2002

2) スタジアム本体の周囲には

にぎわい施設（案）

- ⑩ 集まれ未来のJリーガー 「サブコート（芝生広場）」
- ⑪ スタジアムロードを花で彩り
- ⑫ サイクリングステーション

⑩ 集まれ未来のJリーガー 「サブコート（芝生広場）」

▽ 概要

サブコート（芝生広場）を配置し、さらに、「保津川かわまちづくり計画」における運動に使える広場や近隣の亀岡市の運動公園などと面的な連携を図り、サッカーやフットサルのジュニア・ユース等競技者の練習・大会の聖地とする

▽ 施設

人工芝コート 更衣室 シャワー室



出典：フクダ電子アリーナ

⑪ スタジアムロードを花で彩り

▽ 概要

駅前からスタジアムに通じるロードやスタジアムのエントランスにおいて、サポーターや地域の人たちが花壇等に、花で彩りをそえるという取組み



出典：キンチョウスタジアム



出典：フクダ電子アリーナ

⑫ サイクリングステーション

▽ 概要

自然豊かな丹波路を活用し、ロードバイクなどの行き帰りの拠点になるような施設を設置

▽ 施設

更衣室、シャワー室、自転車整備室など



出典：奈良県立橿原公苑

3) 都市公園敷地外には

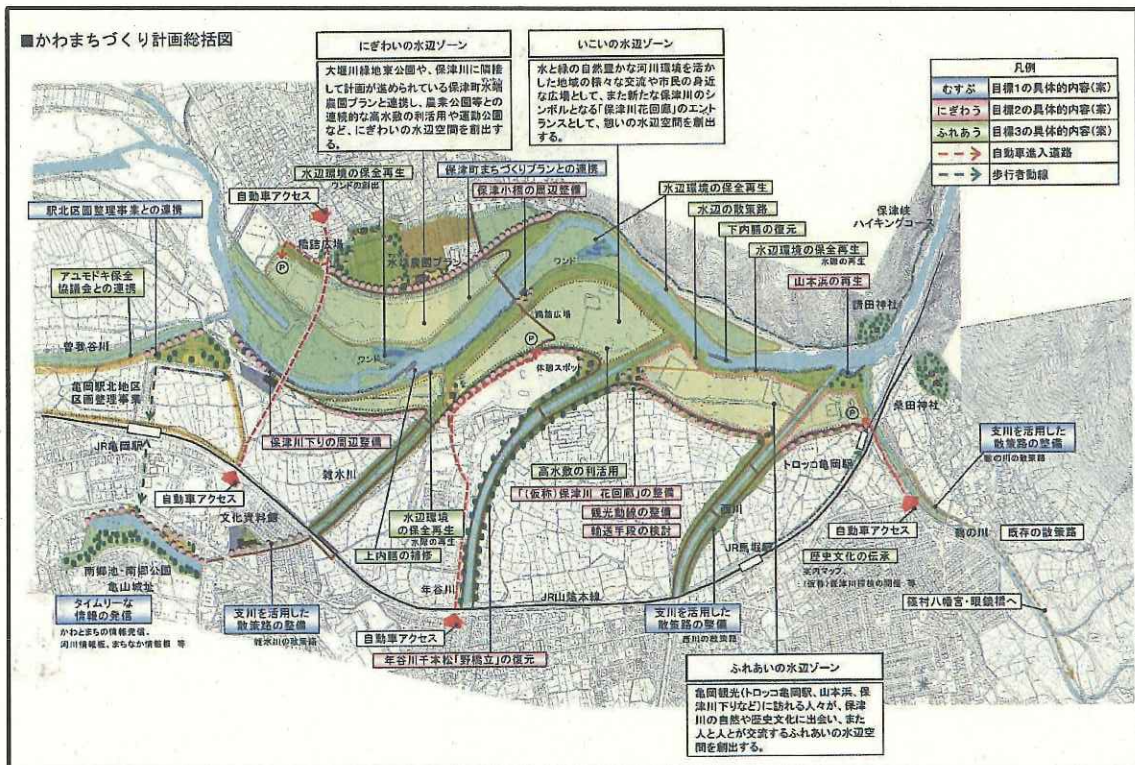
<亀岡駅北土地区画整理事業の商業ゾーン> (イメージ(案))

- 京野菜直売所、京料理レストラン、手作りパン、オープンカフェ
- ホテル
- 和風テイストの街並み、歴史文化資料館、温浴施設

当該イメージ資料は亀岡駅北土地区画整理組合設立準備委員会の所有物であり、一般への公表はされておられませんので、ホームページには掲載しておりません。

<保津川かわまちづくり>

- 松並木（「野橋立」、遊歩道
- 「（仮称）保津川花回廊（桜づつみ）」、散策路、休憩施設
- 高水敷の芝生広場、運動広場、水辺公園、水辺の散策路



出典：南丹土木事務所・亀岡市